

エコ通信

NO.54
2019 夏号
鶴岡市環境課・廃棄物対策課

6月は環境月間です



環境問題は誰かが解決してくれるものではありません。一人ひとりの取り組みが大きな結果につながります。電気・燃料の節約やごみの減量など、皆さんの身近でできる環境にやさしいことから始めましょう。



省エネルギー化を推進する

- ✓ 省エネ家電やLED照明等の導入



自動車の利用や運転を見直す

- ✓ 自動車の相乗り、公共交通機関の利用
- ✓ エコドライブの実践
- ✓ 近距離の際は徒歩か自転車を利用



緑の活用を進める

- ✓ グリーンカーテンの実施
- ✓ 宅地内、地域内の緑化

ごみの発生・排出を抑制する

- ✓ 宴会等での食べきり運動の実施
代表的なのが 3010 (さんまるいちまる) 運動。
< 乾杯後 30 分 > は席を立たずに、< お開き 10 分前 > には自分の席に戻って、料理を楽しむ食品ロス削減のための取組
- ✓ 食べきれないほどの料理は作らない

環境月間・環境の日とは・・・

6月5日は「環境の日」です。これは、1972年6月5日からストックホルムで開催された「国連人間環境会議」を記念して定められたものです。

また、1991年度から6月の1か月間を「環境月間」としています。

地球温暖化など、私たちを取り巻く問題は山積みです。美しい鶴岡の自然を守るためにも、私たち一人ひとりができることを考えてみましょう。

【環境課】

鶴岡市エコキャラ
みどりちゃん



食品ロスを意識することから始めましょう

先ごろ国は、平成 28 年度の食品廃棄物等及び食品ロスの発生量の推計結果を公表し、食品廃棄物等は約 2,759 万トン、このうち、本来食べられるにもかかわらず捨てられた食品ロスは約 643 万トンと推計されました。平成 27 年度推計値はそれぞれ約 2,842 万トン、約 646 万トンでしたので、前年度をわずかに下回る結果となりました。

食品ロスが 646 万トンといわれてもピンとこない方が多いと思いますが、これを日本国民一人当たりで換算すると、赤ちゃんからお年寄りまで、毎日お茶碗一杯分（約 140 g）の食べ物を捨てていることとなります。何とももったいないことです。

また、国連世界食糧計画（WFP）による世界の食糧援助量約 320 万トン（2015 年）と比較すると約 2 倍であり、私たちが「もったいない」と感じる以上に食品ロスは深刻な問題となっています。

まずは、日常生活の中で食品ロスを意識することが重要です。買い物、調理、食事、それぞれの場面で、食品ロス削減のために、できることから取り組みましょう。

【廃棄物対策課】

